

11月初旬の長野県の発表まで
非公開

令和4年11月1日
部長会議資料
教育委員会学校教育課

1

令和4年度 全国学力・学習状況調査 長野市の結果分析と学力向上に向けて

I 調査概要

(1) 教科に関する調査

・令和4年4月19日(火)実施

・小学校:国語、算数、理科 ・中学校:国語、数学、理科

※理科は3年に一度程度の実施

(2) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査(69項目)

・学校に対する調査(小学校:82項目 中学校:80項目)



II 調査対象

市立小学校6年生 54校 2,793人 市立中学校3年生 25校 2,734人

※調査人数は、国語の実施人数を記載しています。

長野市教育委員会事務局 学校教育課

■ 教科に関する調査から 【結果の概要】

小学生

本市及び長野県、全国の正答率(%)

中学生

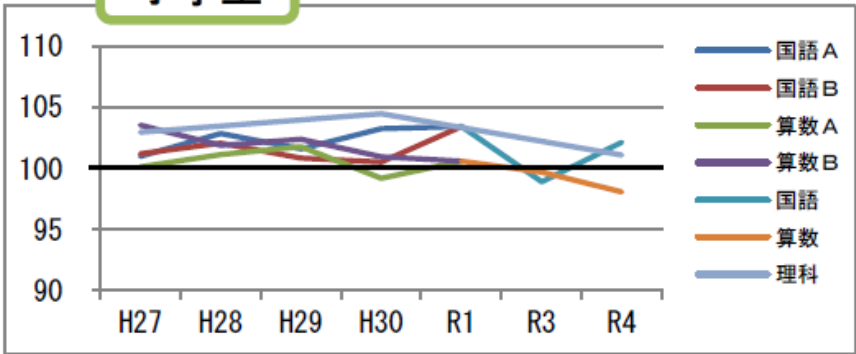
	長野市	長野県	全国
国語	67	66	65.6
算数	62	62	63.2
理科	64	63	63.3

	長野市	長野県	全国
国語	69	68	69.0
数学	51	51	51.4
理科	51	50	49.3

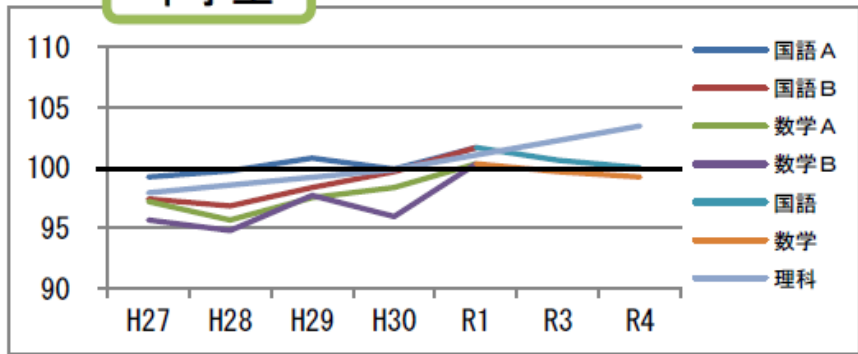
全国の正答率を 100 とした場合の、本市の結果の推移（国語、算数・数学・理科）

※令和元年度から「知識 A」と「活用 B」を一体的に問う問題形式で実施。

小学生



中学生



■ 教科に関する調査から 【正答数分布】

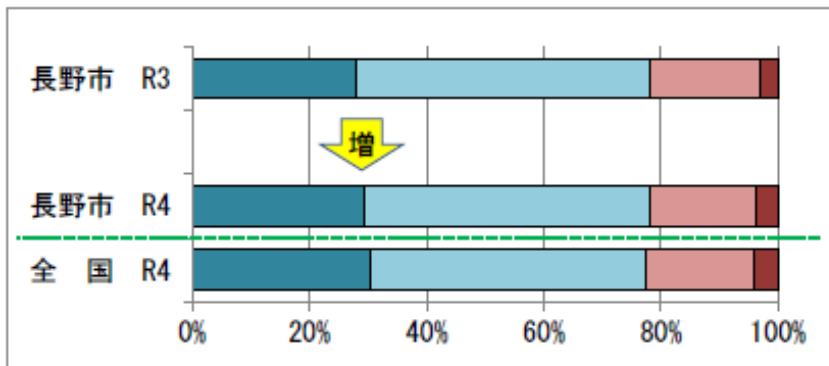
	正答率40%以下の 児童生徒の割合		正答率80%以上の 児童生徒の割合	
	全国	長野市	全国	長野市
小学校 国語	15.0%	14.5%	28.4%	29.0%
算数	17.8%	17.7%	30.2%	28.1%
理科	16.4%	14.7%	28.6%	30.0%
中学校 国語	10.2%	9.2%	31.1%	30.5%
数学	33.7%	33.7%	13.0%	11.3%
理科	35.1%	31.2%	7.4%	7.4%

教科に関する質問紙調査から 【探究的な学習の様子】

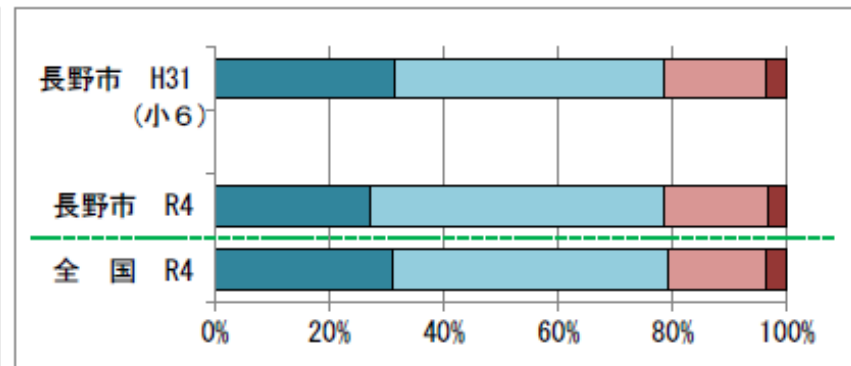
【児童生徒質問紙(39)】

5年生(中学校1、2年生)のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

小学校

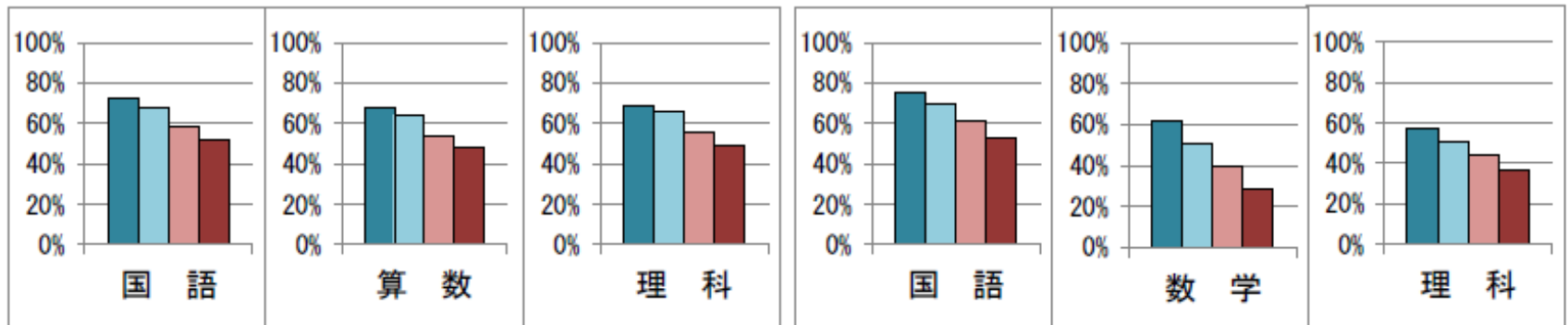


中学校 ※中学校は同じ集団による比較



■ 当てはまる □ どちらかと言えば、当てはまる ■ どちらかと言えば、当てはまらない ■ 当てはまらない

上記質問に対する回答別の平均正答率との関係 (クロス集計)

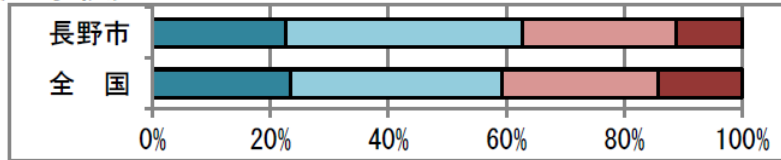


■ 教科に関する質問紙調査から 【各教科より】

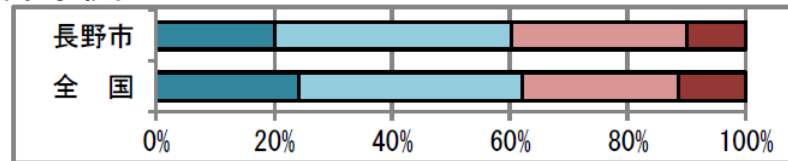
【児童生徒質問紙(49)】

国語の授業は好きですか

〔小学校〕



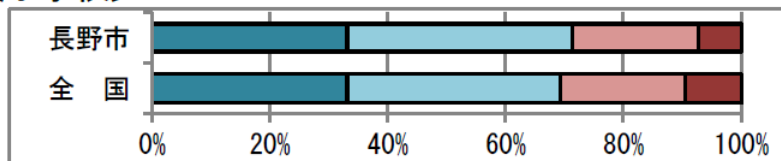
〔中学校〕



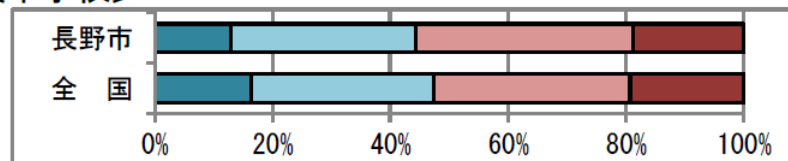
【児童生徒質問紙(57)】

算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

〔小学校〕



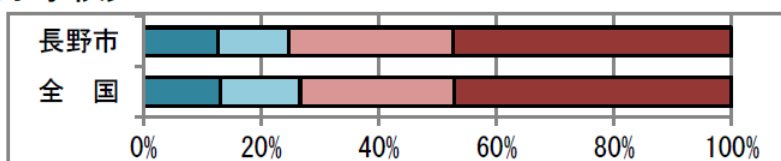
〔中学校〕



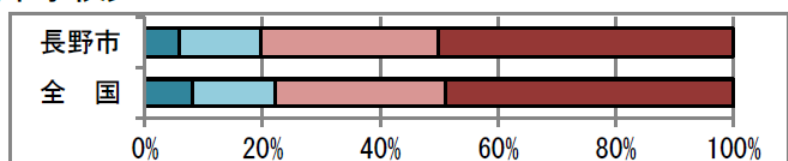
【児童生徒質問紙(66)】

将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか

〔小学校〕



〔中学校〕



■ 教科に関する調査から 【今後の方向】

生きる力を育成する学校づくりの推進

学校は、ひとづくりの場です。予測困難な時代の中、これまで取り組んできた「基礎学力の定着」や「子どもたちの実態や地域の特色を生かした学習」を更に充実させることで「自学自習の資質能力」の伸張を図ります。また、創造性や豊かな感性、たくましく生きるための健康・体力を育む、主体的で対話的な深い学びを通して、全ての子どもたちの知・徳・体を一体的にバランスよく育み、生きる力の育成を目指します。

<第三次長野市教育振興基本計画より>

今後の方向

- ① 自学自習の資質能力の伸張
・探究的な学習の充実
- ② 正答率40%以下の児童生徒への丁寧な指導と、正答率80%以上の児童生徒の割合を高めるための充実した指導
- ③ 今の学習を将来の生活に活用する力の育成
・理科教育、理科教育センターの充実

【成果】

番号	質問内容	小学校	中学校
(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む) 【児童生徒質問紙】	104 ↑ (101)	102 ↑ (93)
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか 【児童生徒質問紙】	111 (111)	117 ↑ (110)
(72) (70)	職場見学や職場体験活動を行っていますか ※「行っている」回答を集計 【学校質問紙】	157 ↑ (126)	263 ↑ (103)

【さらに伸ばしたい】

(9)	将来の夢や目標を持っていますか 【児童生徒質問紙】	100 (100)	99 (100)
(46)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか 【児童生徒質問紙】	97 ↑ (93)	94 (93)
(18)	指導計画作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外的資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている 【学校質問紙】	102 (100)	96 ↓ (109)

・全国を100としたときの、長野市の肯定的な回答の数値 ()は令和3年度の数値
 ・令和3年度と比較して3ポイント以上の差があったものを↑、↓で表示

■ 「協働」を通じた「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」に向けて

教育を取り巻く社会的背景の変化、近年の自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大など、予測困難な時代が到来しています。このような中、家庭、地域、学校など各主体が個々に活動するだけでは課題解決を行うことが困難な状況にあります。立場や見解の相違を前提としながら、多様な主体と協働し、「誰一人取り残すことなく」学び支え合う、持続可能な社会を創っていくことが求められます。第三次教育振興基本計画では、「協働」をキーワードとした取組を推進することで、「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」を目指しています。

そこで、「協働」をキーワードとした取組の具体

- ① 大学や高等教育機関との連携を図り、多様な学びの機会の充実
- ② 企業と連携した教育環境の充実
- ③ 部活動の地域移行の推進
- ④ 地域や民間団体、諸機関との連携を図り、社会的自立に向けた登校支援の充実